

第44回

全日本バトントワリング選手権東海支部大会

第10回WBTFインターナショナルカップ東海支部代表選考

2019年IBTFグランプリ大会東海支部代表選考

基本実施要項



目 次

第 44 回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会

大会概要 大会日程 支部別出場枠数	2
実施規定 6 種目共通	4
審査規定 6 種目別	9

第 10 回WBTFインターナショナルカップ (東海支部代表選考)

大会概要	16
実施規定	19
審査規定	25

2019年 I B T F グランプリ大会 (東海支部代表選考)

大会概要	29
実施規定	31
審査規定	35

日本代表選考 支部別出場枠数	36
各種申込みについて	37

規定演技の部

大会概要 大会日程	38
実施規定 規定演技共通	39

出場者の注意事項等	43
-----------	----

緊急対策	44
------	----

第 4 4 回

全日本バトントワーリング選手権東海支部大会

大会概要 (選手権の部)

名 称	第 44 回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会
開催日程	2019 年 2 月 16 日 (土) 10 : 00 ~ 20 : 00 (予定) 2019 年 2 月 17 日 (日) 10 : 00 ~ 19 : 00 (予定)
開催会場	岐阜メモリアルセンター 【で愛ドーム】 〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28 TEL (058) 233-8822
主 催	日本バトン協会東海支部 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201 TEL (052) 265-9251
競技種目	ソロトワール トゥーバトン スリーバトン ペア ソロストラット ダンストワール
主 旨	本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに全国各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

支部別出場枠数

(1) 以下の通りすべて支部推薦とする。

(2) 支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6 種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠として 1 枠追加する。
- ③ 主管支部は開催地枠として 1 枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、1 部門 7 枠までを上限とする。
- ⑤ 出場者がなく使用できなかった種目は、2 枠を上限として他種目へ振り替えることができる。
- ⑥ 決定した割当枠は、2019 年 1 月 15 日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
ソロトワール	12	14	41	22	39	45	27	6	40	7	253
			4	1		4+1			1		
トゥーバトン	8	7	17	11	18	25	13	6	27	4	136
				1		5+1			2		
スリーバトン	6	3	19	3	14	20	9	2	15	3	94
			4			3+1			1		
ペア	6	10	18	11	14	13	10	4	19	4	109
			1	1		1+1			1		
ソロストラット	5	9	21	8	15	21	7	3	18	3	110
			1			3+1					
ダンストワール	9	14	23	11	21	19	10	4	25	3	139
			2			1			2		
	46	57	139	66	121	143	76	25	144	24	841

*表の下段の数字は第 43 回の優勝枠及び第 44 回の開催地枠の数が含まれていることを示す

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。【日本バトン協会HP参照】
- (2) 支部推薦種目
 [ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール]
 ① ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
 ② 同一選手の出場は 6 種目の中から 2 種目までとする。

2. 参加申し込み

- (1) 参加者は参加申し込み用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出する事
 ※申込用紙はHPからダウンロードしてください。
- (2) **すべての参加申し込み申請の締め切りは、12月1日（土）15時までとする。**
- (3) 下記の種目別の参加費を、**〆**切日までに指定口座へ納入すること。
 ① 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 ② 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	5,000円
トゥーバトン	5,000円
スリーバトン	5,000円
ペア(1組)	8,000円
ソロストラット	5,000円
ダンストワール	5,000円

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

2. 部門に関する規定

※未就学は含まない。

【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子U-9	2009年4月2日	～	2012年4月1日
②	女子U-12	2006年4月2日	～	2009年4月1日
③	女子U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
④	女子U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
⑤	女子U-22	1996年4月2日	～	2000年4月1日
⑥	女子O-23		～	1996年4月1日
⑦	男子JrU-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
⑧	男子JrU-17	2001年4月2日	～	2006年4月1日
⑨	男子Sr	1996年4月2日	～	2001年4月1日
⑩	男子Ad		～	1996年4月1日

【トゥーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子U-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
②	女子U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
③	女子U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
④	女子O-19		～	2000年4月1日
⑤	男子JrU-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
⑥	男子JrU-17	2001年4月2日	～	2006年4月1日
⑦	男子Sr	1996年4月2日	～	2001年4月1日
⑧	男子Ad		～	1996年4月1日

【スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子U-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
②	女子U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
③	女子U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
④	女子O-19		～	2000年4月1日
⑤	男子JrU-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
⑥	男子JrU-17	2001年4月2日	～	2006年4月1日
⑦	男子Sr	1996年4月2日	～	2001年4月1日
⑧	男子Ad		～	1996年4月1日

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

①	U-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
②	U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
③	U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
④	O-19		～	2000年4月1日

- ※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。
- ※ 補欠は認めない。

【ソロストラット】

(1) 部門は次の通りとする。

①	U-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
②	U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
③	U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
④	O-19		～	2000年4月1日

- ※ 性別区分は行わない。

【ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	U-12	2006年4月2日	～	2012年4月1日
②	U-15	2003年4月2日	～	2006年4月1日
③	U-18	2000年4月2日	～	2003年4月1日
④	O-19		～	2000年4月1日

- ※ 性別区分は行わない。

3 . 演技順に関する規定

(1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。

(2) 準決勝の演技順は準々決勝の、決勝の演技は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

4 . 審査、順位に関する規定

(1) 審査員長・審査副員長

- ① 審査員長 1 名、審査副員長 1 名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員・ペナルティ審査員

- ① 審査員は、準々決勝 3 名/準決勝 3名～5 名/決勝 5 名とする。
- ② ペナルティ審査員は、1 名とする。

(3) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。

- ① 準々決勝上位25位までが準決勝に進出する。
- ② 準々決勝出場者が25名以下の場合は、準々決勝を行わず準決勝のみとする。
- ③ 準決勝上位10名を目安に決勝に進出する。
- ④ 準決勝出場者が10名以下の場合は、準決勝を行わず決勝とする。

(4) 順位の決定は次の通りとする。

- ① 準々決勝を複数コートで行う場合は、各審査員の評点(10点法小数点第2位まで)からペナルティを差し引いた点数合計により決定する。
- ② 準々決勝を単一コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。席次点を上下カットしたものの合計により決定する。
- ③ 準決勝及び決勝順位は各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。席次合計により決定する。
- ④ 準決勝、決勝進出下限位が同点の場合は進出できる。
- ⑤ 決勝順位が同席次の場合は審査員全員の席次点合計とする。更に同席次の場合はペナルティ減点後の全審査員の最高点・最低点を除いた点数合計の高い方を上位とする。さらに同点の場合はペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
さらに同席次・同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位及び全日本選出に関わる同席次、同点の場合は再演技を行い、5名の審査員とペナルティ審査員により決定する。
(選手が3人以上の場合は5名の審査員とペナルティ審査員の採点により決定する)

5. 表彰に関する規定

- (1) 全日本選手権大会への推薦枠により、賞状とメダルを授与する。
(決勝進出者には賞状を授与する。)

6. コスチュームに関する規定

【ソロトワール / トゥーバトン / スリーバトン / ペア / ソロストラット共通】

- (1) 自由 (女子はパンツスタイル不可)

【ダンストワール】

- (1) 自由 (小道具・帽子着脱は不可)

7. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- ③ 演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んではいない。
- ④ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑤ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑥ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑦ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止する。

8. 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

9. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (3) 2010 年度改訂 6 種目課題曲CD（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）2,160 円を送料別にて販売する。
※ 上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページを確認のこと。
[<http://www.baton-jp.org/>]
- (4) 入場券について
観覧には入場券が必要です。
1日券 1500円（前売り、当日券共）

【ソロトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1 名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 1 本
- ③ 演技スペース ……縦 7m×横 7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲 (時間) ……Solo Special (約 1 分 45 秒)
- ⑤ 演技内容 ……1 本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) イントロダクション (オープニング サリュートは自由)
- イ) 3 モード

{	エーリアル	[バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
	ロール	[バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
	コンタクト マテリアル	バーティカル・フラット (ホリゾンタル)]
- ウ) エンディング (エンディング サリュートは自由)
 ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ 3 モードのバランス／両手使い
- イ) ディフィカルティー
 - ・ バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ プロジェクション (意気込み)／ダイナミックさ／持続性 (忍耐力とスタミナ)／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・ バトンの回転だけでなく、全体 (3 モード) を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
- イ) 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【トウーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1 名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 2 本
- ③ 演技スペース ……縦 7m×横 7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲 (時間) ……Two Baton・Three Baton & Pair Special (約 1 分 30 秒)
- ⑤ 演技内容 ……2 本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) コンタクト マテリアル (2 本のバトンを身体の近くで行うトワール)
- イ) ロール (両手を使ったロール。又は空中で1 本のバトンが高く、もう1 本がロールの組み合わせ)
- ウ) ハイ ロー (空中で1 本のバトンが高く、もう1 本が低いエーリアル。又は1 本が高くもう1 本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ)
- エ) ダブル トス トリック (2 本同時に空中ヘトス)
- オ) ジャグル (片手で連続的なリリースとキャッチ。例: 片手で 2 本のバトンを交互にトス)
- カ) シャワー (両手で連続的なリリースとキャッチ。例: 1 本のバトンをついてる間にもう 1 本をパスして最初のバトンをついてる)
- キ) コンプレックス トリック (複雑なトリック・リリース・レセプション)

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トウーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション (意気込み)／ダイナミックさ／持続性 (忍耐力とスタミナ)／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
- イ) 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1 名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 3 本
- ③ 演技スペース ……縦 7m×横 7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲 (時間) ……Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 演技内容 ……3 本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
- イ) シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
- ウ) ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
- エ) ダブルトス — シングルトス
(2 本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう 1 本を続いてトスする)
- オ) ハイ 1 ロー (高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと)
- カ) スタックス (高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う)
- キ) トリプルトス (3 本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

(2) 審査内容

① 内容

ア) バラエティー

- ・ シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方

イ) ディフィカルティー

- ・ 密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エーリアル

② 実施

ア) テクニック

- ・ バトンの精密さ、安定度／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ

イ) パフォーマンス&エクスペリション

- ・ エンターテインメント性／持続力&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力

ウ) デマンド

- ・ 継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1 本につき 0.1 点減点

イ) 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2 名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 2 本 (各 1 本)
- ③ 演技スペース ……縦 8m×横 8mの広さを目安とする
- ④ 課題曲 (時間) ……Two Baton・Three Baton & Pair Special (約 1 分 30 秒)
- ⑤ 演技内容 ……二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

(2) 審査内容

① 内容

ア) バラエティー

- ・3 モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン

イ) ディフィカルティー

- ・バトンとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／
コーディネーションの困難度

② 実施

ア) テクニック

- ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／
ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／
リズム・タイミングのコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペッション

- ・ペアとしての責任／プロジェクション (意気込み) ／持続性 (忍耐力とスタミナ) ／
自信のある演技／リカバリー能力

ウ) スピード

- ・バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1 本につき 0.1 点減点

イ) 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ソロストラット】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……栄光へのマーチ（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

ア) イントロダクション	8 拍
イ) ミリタリーストラット	32 拍
ウ) プレゼンテーション	32 拍
エ) フォワードモーション	96 拍
オ) エンディング	16 拍

構成内容

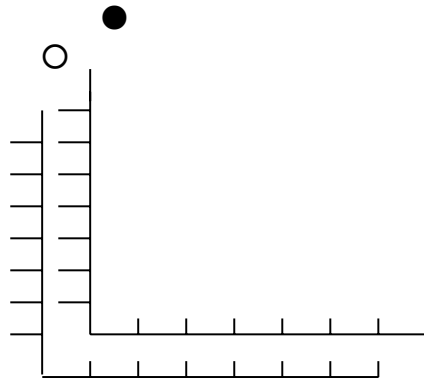
ア) イントロダクション

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

イ) ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）

- ・足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中まっすぐ正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

- ウ) プレゼンテーション
 - ・自由に表現できるセクション
- エ) フォワードモーション
 - ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
- オ) エンディング
 - ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) イントロダクション・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- イ) プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ウ) フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ウ) アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は 1 拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
- イ) 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点 全転倒 1 回につき 0.2 点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ダンストワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……輝きの時（約1分34秒）
- ⑤ 演技内容 ……バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

(2) 審査内容

① 内容

ア) コレオグラフィー

- ・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方・ステージング

イ) バトンとダンスのブレンド

- ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

② 実施

ア) テクニック

- ・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペッション

- ・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

第10回

WBTF インターナショナルカップ日本代表選考

大会概要

名 称	第10回 WBTF インターナショナルカップ
主 旨	1978年、カナリー諸島において世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的とし、世界バトントワーリング連合【WORLD BATON TWIRLING FEDERATION (WBTF)】が設立され、1980年にアメリカ・シアトルで「第1回世界バトントワーリング選手権大会」を開催。2005年からは加盟国及び未加盟国へのさらなる競技バトンの普及を図るため「WBTF インターナショナルカップ」を新設。「世界バトントワーリング選手権大会」との隔年開催により、芸術スポーツとしてのバトントワーリング競技の確立と普及、さらにはオリンピックへの正式種目を最大の目標として発展を目指しています。
開催日程	2019年8月4日(日)～8日(木)
開催場所	フランス
主 催	世界バトントワーリング連合 (WBTF)
参加国 (予定)	WBTF加盟32カ国 アイルランド、アメリカ、アルメニア、イタリア、イングランド、インド、ウクライナ、ウズベキスタン、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、キルギルスタン、クロアチア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、大韓民国、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、南アフリカ共和国、ロシア
競技種目	スリーバトン・アーティスティックトワール・アーティスティックペア・アーティスティックグループ

< 第 10 回 WBTF インターナショナルカップ競技概要 >

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
スリーバトン	(女子) ジュニア I 12 歳～17 歳 ジュニア II 15 歳～17 歳	課題曲 1 分 29 秒	(女子) ジュニア I 3 名 ジュニア II 6 名	縦 4.5m×横 6m
アーティスティック トワール	シニア 18 歳～21 歳 アダルト 22 歳～ (男子) ジュニア 12 歳～17 歳 シニア 18 歳～	課題曲 1 分 44 秒	シニア 6 名 アダルト 6 名 (男子) ジュニア 6 名 シニア 6 名	縦 6m×横 12m
アーティスティック ペア	性別区分なし ジュニア 12 歳～17 歳 シニア 18 歳～21 歳 アダルト 22 歳～	課題曲 1 分 44 秒	各 6 組	縦 6m×横 12m
アーティスティック グループ	性別区分なし [10 名以上] ・12 歳以上	自由曲 3 分～3 分 30 秒 ※過不足 10 秒可	3 グループ	縦 15m×横 25m

※エリートレベルのみ

日本代表選手の参加について

- ① WBTF インターナショナルカップの主旨を考慮し、エリートレベルのみの参加とする。
- ② すべての種目は小学生を除く、12歳以上とする。

第10回 WBTF インターナショナルカップ 東海支部代表選考

選考日程 2019年 2月16日(土)
 2019年 2月17日(日)

「第44回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会」同日日程

選考会場 岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）
 〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28
 TEL (058) 233-8822

主 催 日本バトン協会東海支部
 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201
 TEL (052) 265-9251

競技種目 アーティスティックトワール
 アーティスティックペア
 アーティスティックグループ

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) エントリーと支部推薦種目
- ① アーティスティックペア/アーティスティックグループのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。補欠も登録選手以外は認めない。

2. 参加申し込み

- (1) 参加者は参加申し込み用紙に必要事項を記入し、登録団体毎にデータで提出すること。
※申し込み用紙は、HPからダウンロードしてください。
- (2) **すべての参加申し込み申請の締め切りは12月 1日(土) 15時までとする。**
- (3) 下記の種目別の参加費を、締め切り日までに指定口座に納入する事。
- ①参加申込書が事務局へ送信され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
- ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
- ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

アーティスティックトワール	5,000円
アーティスティックペア (1組)	8,000円
アーティスティックグループ(1グループ)	20,000円

※大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

- (4) 著作権に関する書類（添付書類を含む）と録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書をデータで提出すること。
※録音利用明細書について、支部大会時に一括申請し同一の曲を使用する場合は、提出の必要はない。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失うものとする。

2. 部門に関する規定

※WBTF実施規定変更に伴い、部門、区切り月日は下記の通りとする。
※すべての種目は渡航時に小学生を除く、12歳以上とする。

【アーティスティックトワール】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

女子

①	ジュニアⅠ	2005年1月1日	～	2007年4月1日	※12歳～14歳
②	ジュニアⅡ	2002年1月1日	～	2004年12月31日	※15歳～17歳
③	シニア	1998年1月1日	～	2001年12月31日	※18歳～21歳
④	アダルト		～	1997年12月31日	※22歳以上

男子

①	ジュニア	2002年1月1日	～	2007年4月1日	※12歳～17歳
②	シニア		～	2001年12月31日	※18歳以上

※男子 18歳以上はすべてシニア部門となる。
※2019年12月31日時点の年齢を示す。

【アーティスティックペア】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門

①	ジュニア部門	2002年1月1日	～	2007年4月1日	※12歳～17歳
②	シニア	1998年1月1日	～	2001年12月31日	※18歳～21歳
③	アダルト		～	1997年12月31日	※22歳以上

※2019年12月31日時点の年齢を示す。
※1名の補欠を用意することが出来る（日本代表認定規程に準ずる）

【アーティスティックグループ】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

※～2007年4月1日 12歳以上

※2019年12月31日時点の年齢を示す。

※10名以上30名以内とし、補欠を用意することが出来る（日本代表認定規程に準ずる。以下原文補欠登録にかかわらず、選考時総員の増減10%までの人数の変更は可能とする。）

3. 演技順に関する規定

(1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／アーティスティックグループの演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。

(2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

【アーティスティックトワール / アーティスティックペア】

(1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

- ① 審査員長 1名、審査副員長 1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- ② 審査員——3名～5名

(2) 順位の決定は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ① 10点法（小数点第2位まで）により採点し、得点とする。
- ② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- ③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
 - 優先順1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
 - 優先順2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順4 審査員の投票により決定する

【アーティスティックグループ】

(1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員長 1 名、審査副員長 1 名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

② 審査員——5 名

③ 審判員——1 名以上

(2) 順位の決定は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

① 100 点法（小数点第 1 位まで）により採点し、得点とする。

② 違反があった場合は、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

③ 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

④ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順 1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

優先順 4 審査員の投票により決定する

⑤ 準決勝・決勝は次の通りとする。

ア) 4 グループ以下のエントリーの場合は決勝のみとする。

イ) 準決勝出場グループが

5～7 グループの場合は 4 グループ

8～14 グループの場合は 5 グループ

15 グループ以上の場合は 6 グループが決勝に進出する。

4 . コスチュームに関する規定

【アーティスティックトワール / アーティスティックペア共通】

(1) スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

【アーティスティックグループ】

(1) スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

5 . バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ②バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ③バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。ただしグリップテープはシャフトの長さの 1/2 までとし、センターから同等に巻く (2017 年度より実施) こと。
- ④グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
- ⑤テープやテープの類似品以外の、付属品等を使用することはできない。(視覚的補助及びハンドリング補助の為は可)
- ⑥複数人での参加種目ではグリップテープのカラーや巻き方は同一とすること。
- ⑦演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑧演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑨必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑩付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑪スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾(顔に絵を描いたりすること)は禁止する。

6 . 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント(体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる)について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

7 . その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

8 . 著作権について

【アーティストックグループ】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。
音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない

（1）音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接著作権を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。

尚、著作権は著作者の死後 50 年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無は JASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理のこと。

（2）大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○ 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○ 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- ① 著作権所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

。

【アーティスティックトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 1本
- ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
……演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用度」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分44秒）

(2) 審査内容

- ① 技術
 - ア) テクニック
 - イ) スピード
 - ウ) 3モード(エーリアル・ロール・コンタクトマテリアル)のバラエティー・ディフィカルティーエ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
 - オ) ディフィカルティー
 - カ) クリアネス&シュアネス
- ② 芸術
 - ア) ジェネラルコンテンツ
 - イ) ビジュアルミュージカルティー
 - ウ) 空間の利用度
 - エ) チェンジオブペース
 - オ) スキルの要求度
 - カ) 演技の優秀さ
 - キ) 正確さ
 - ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

【アーティスティックペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 2本 (各1本)
- ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
……演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分44秒）

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- イ) エクスチェンジ
- ウ) 移動しながらのバントワーリング
- エ) 両手使い

② 実施

- ア) 滑らかさと流れ
- イ) 音楽との関わりでの速さ
- ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- エ) バトンとボディの正確な技術
- オ) ペアワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
- イ) 時間と空間の利用
- ウ) ステージング
- エ) 一貫性と論理的な展開
- オ) エンターテインメントの価値
- カ) 表情と身仕舞い
- キ) プロフェッショナルリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

【アーティスティックグループ】

【種目の概要説明】

グループ種目における重要ポイントとは、エフェクト（効果）の完成度と明確さ。これを達成するには、フォーメーション、構図、パターン、移動時の動作など、メンバー全員がスキルレベルを同様に習得している事が求められる。これらの技術を基礎とし、音楽表現、テーマ、キャラクターやストーリーをビジュアルエフェクト（視覚的効果）として表現する。

振り付けは自由に行う事が出来、フリースタイルチーム種目のように必要とされる内容を演技に組み込まなくてはならないと言う制約はない。また、演技で使用するスキルをより深く掘り下げるより、ユニゾン（協調性）が重要である。それに伴って演技の明確さや視覚的な主張が大切で、よりエンターテインメント性に富んだ演技種目。

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……10名以上 30名以内
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
- ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、
□の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「フロアの利用」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、データにて事前に提出すること。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。

音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。

3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする。

① 全体的効果 40%

- ア) 最重要点は、完成度の高さ。
- イ) 音楽を生かしたキャラクター、一人一人の役割、個性、グループのスタイル
- ウ) 論理性や信頼性に基づく、優秀な演技
- エ) グループならではの幅広く多彩な効果、引き付ける魅力
- オ) 全体を通してムード、芸術性、視聴覚の一致の維持
- カ) フロアの利用、列、タイミング、空間の利用

② コレオグラフィー 30%

- ア) プログラムコンセプトの優秀さ（テーマの展開）
- イ) 作品のドラマチックさと、計算されたバトン・ボディワーク・ステージング・フォーメーションの展開の質
- ウ) 時間やレイヤー（いくつかのパーツの重なりや層）を用いたデザインと構成の質

③ バトン 15%

- ア) 演技者のレベルに見合ったトワーリング素材
- イ) バトンとボディワークのコンビネーション
- ウ) 全員によるバトン熟練度の達成
- エ) 素材の十分なトレーニング
- オ) マスター度

④ ボディ 15%

- ア) 演技者のレベルに見合ったボディワーク素材
- イ) ボディワークとバトンのコンビネーション
- ウ) 全員によるボディワーク熟練度の達成
- エ) 素材の十分なトレーニング
- オ) マスター度

グループ<技術内容の禁止事項>

スピン	<ul style="list-style-type: none"> ・1 スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・2 スピン…スタンダードリリースとレセプション。(※1)ボディの禁止事項なし。
エーリアル ジムナスティック	<ul style="list-style-type: none"> ・側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス & トラベリング コンプレックス	<ul style="list-style-type: none"> ・トスの下で、メジャーボディムーブ(※2)は1回。その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	<ul style="list-style-type: none"> ・トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	<ul style="list-style-type: none"> ・コンティニュアスフロントネックロール(手の有無に関係なく)禁止。 ・フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・モンスターロール(パーシャルも完成形も)禁止。
コンタクトマテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止事項なし。

詳細：(※1) スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

(※2) メジャーボディムーブとは、イリュージョン・ウォークオーバー(前・後)・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

2019年 IBTF グランプリ大会 大会概要

名 称	2019年 IBTF グランプリ大会
主 旨	バトントワーリングの世界的普及と発展を目指して、ナショナルバトントワーリング協会世界連合（WFNBTA）と世界バトントワーリング連合（WBTF）は、新たな国際組織「国際バトントワーリング連盟（International Baton Twirling Federation [IBTF]）」を設立することになりました。共同事業として、両組織の優れた選手たちが一堂に集い、友好を深め、技を競う2019年IBTFグランプリ大会を開催します。
開催日程	2019年8月9日（金）～11日（日）
開催場所	フランス
主 催	国際バトントワーリング連盟（IBTF）
参加国 （予定）	WBTF加盟32カ国 アイルランド、アメリカ、アルメニア、イタリア、イングランド、インド、ウクライナ、ウズベキスタン、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、キルギルスタン、クロアチア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、大韓民国、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、南アフリカ共和国、ロシア
競技種目	ソロトワール／トゥーバトン／フリースタイルチーム
レ ベ ル	全種目エリートレベル

<2019年 IBTF グランプリ大会競技概要>

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
ソロトワール	(女子) ジュニアⅠ 12歳～14歳 ジュニアⅡ 15歳～17歳 シニア 18歳～21歳	課題曲 2分	(女子) ジュニアⅠ 4名 ジュニアⅡ 8名 シニア 8名 アダルト 8名	縦 4.5m×横 6m
トゥーバトン	アダルト 22歳～ (男子) ジュニア 12歳～17歳 シニア 18歳～	課題曲 1分45秒	(男子) ジュニア 6名 シニア 6名	
フリースタイル チーム	性別区分なし 12歳以上 [6名～8名]	自由曲 3分～3分30秒 ※過不足10秒可	6チーム	縦 15m×横 25m

2019年
IBTF グランプリ大会
東海支部代表選考

選考日程 2019年 2月 16日(土)
 2019年 2月 17日(日)

「第44回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会」同日日程

選考会場 岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）
 〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28
 TEL (058) 233-8822

主 催 日本バトン協会東海支部
 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201
 TEL (052) 265-9251

競技種目 フリースタイルチーム

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
(第44回全日本バトントワーリング東海支部選手権大会・第10回WBTFインターナショナルカップ東海支部代表選考を含む)
- (3) エントリーと支部推薦種目
- ① フリースタイルチームのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。補欠も登録選手以外は認めない。
- (4) すべての参加申し込み申請の〆切は、2018年12月1日(土) 15時までとする。
- (5) エントリー種目
第10回WBTFインターナショナルカップ東海支部代表選考と2019年IBTFグランプリ大会東海支部代表選考で合わせて、3種目までとする。
- (6) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
- ① 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
② 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

フリースタイルチーム (1 チーム)	20,000 円
--------------------	----------

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

- (7) 著作権に関する書類(添付書類を含む)と録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書をデータで提出すること。
※録音利用明細書について、支部大会時に一括申請し同一の曲を使用する場合は、提出の必要はない。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失うものとする。

2 . 部門に関する規定

- ※ I B T F 実施規定変更に伴い、部門、年齢、区切り月日は下記の通りとする。
- ※すべての種目は渡航時に小学生を除く、12 歳以上とする。

【フリースタイルチーム】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

- ※ ~2007 年 4 月 1 日 12 歳以上
- ※ 2019 年 12 月 31 日時点の年齢を示す。
- ※ 6 名以上 8 名以内とし、正メンバーの半数の補欠を用意することが出来る
但し、IBTF グランプリ大会への補欠登録は 2 名とする (日本代表認定規程に準ずる)

3 . 演技順に関する規定

- (1) フリースタイルチームの演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

4 . 選考に関する規定

【フリースタイルチーム】

- (1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

- ① 審査員長 1 名、審査副員長 1 名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- ② 審査員——5名
- ③ 審判員——1名以上

- (2) 選考は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ① 100 点法 (小数点第 1 位まで) により採点し、得点とする。
- ② 違反があった場合は、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。
- ③ 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- ④ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
優先順 1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
優先順 3 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
優先順 4 審査員の投票により決定する

5 . コスチュームに関する規定

【フリースタイルチーム】

- (1) スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
- (2) 手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

6 . バトン、その他に関する規定

* 第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考実施規定に準ずる

7 . 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

8 . その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

9 . 著作権について

【フリースタイルチーム】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。

尚、著作権は著作者の死後 50 年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無は JASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理のこと。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○ 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○ 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- ① 版權所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

【フリースタイルチーム】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……6名以上8名以内
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン 6本から8本(各1本)
- ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、
□の各ライン中央に印をつける。
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・
ステージング」で判断する。
- ④ 演技曲(時間) ……自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、データにて事前に提出すること。
演技曲のスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、
演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行う
こと。曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までと
する。
音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れて
ても良いが、計時には含めない。
3分以上3分30秒以内(過不足10秒可)とする。

① 内容

- ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
イ) エクスチェンジ
ウ) 移動しながらのバントワーリング
エ) 両手使い

② 実施

- ア) 滑らかさと流れ
イ) 音楽との関わりでの速さ
ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
エ) バトンとボディの正確な技術
オ) チームワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
イ) 時間と空間の利用
ウ) ステージング
エ) 一貫性と論理的な展開
オ) エンターテインメントの価値
カ) 表情と身仕舞い
キ) プロフェッショナルリズム(リカバリー能力、チームの責任)

※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

第 10 回 WBTF インターナショナルカップ・2019 年 IBTF グランプリ大会共通 支部別出場枠

(1) アーティスティックトワール、アーティスティックペア、アーティスティックグループ、フリースタイルチームは支部大会から推薦されること。

(2) 支部別出場割当枠数は下記表の通りとする。

- ① 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、各部門の上限を定める。
 アーティスティックトワール 15 名
 アーティスティックペア 8 組
 アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 6 グループ/チーム
- ② 出場者がなく使用できなかった枠数は、他種目へ振り替えることができる。ただし、1 部門（チーム/グループ の場合は 1 種目）2 枠までとする。
- ③ 決定した割当枠は、2019 年 1 月 15 日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックトワール	5	6	32	6	21	34	12	6	32	6	160
各部門の上限は15名とする											
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックペア	3	3	10	7	14	14	8	3	8	3	73
各部門の上限は8組とする											
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックグループ フリースタイルチーム	2	2	4	5	6	6	2	2	2	2	33
アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 上限6グループ/チーム											
						出場割り当て上限数	移動枠上限				
アーティスティックトワール						15	2				
アーティスティックペア						8					
アーティスティックグループ/フリースタイルチーム						6					

それぞれの種目での部門の枠数は支部で自由に決められる。ただしそれぞれには上限を設ける。

種目を越え別の種目に不使用枠を移動できる。ただし1部門（チーム/グループ の場合は1種目）2枠までとする。

各種申し込みについて

(1) 課題曲

- ① 2010 年度改訂 6 種目課題曲 CD 2,160 円を送料別にて販売する。
[ソロトワール/トゥーバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット/ダンストワール]
- ② 2014 年度改訂WBTF課題曲 CD 1,080 円を送料別にて販売する。
[ショートプログラム/アーティスティックトワール/アーティスティックペア]

※一般社団法人日本バトン協会ホームページより申し込むこと。 [<http://www.baton-jp.org/>]

- ③ グランプリ大会の課題曲は WBTF のオフィシャルサイト
「RESOUCE LIBRARY」→ 「Video and Audio」からダウンロードできる。

<参加申込先>

郵便振込み	口座名：バトントワリング東海大会 代表者 服部 美佐 記号12140 番号 88913731
他金融機関からの 振込み	ゆうちょ銀行 218 普通預金 8891373

<申込書類送信先>

大会事務局（問い合わせ）
〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201
tokai_2005_sb@yahoo.co.jp TEL/FAX (052)265-9251 携帯 080-1614-2005

第44回 全日本バトントワーリング選手権東海支部大会 大会概要（規定演技の部）

名 称	第44回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会
開催日程	2019年2月16日（土）10:00～20:00 <u>入門・初級の部</u> （予定） 2019年2月17日（日）10:00～19:00 <u>中級・上級の部</u> （予定）
開催会場	岐阜メモリアルセンター[で愛ドーム] 〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28 TEL (058)-233-8822
主 催	日本バトン協会東海支部 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201 TEL (052) 265-9251
競技種目	ソロトワール 〈全国共通規定演技〉 入門・初級・中級・上級の部 ポンポン 〈全国共通規定演技〉 初級・中級の部 トゥーバトン 〈東海規定演技〉 初級・中級の部 ダンストワール 〈東海規定演技〉 初級・中級の部 ソロストラット 〈東海規定演技〉 初級・中級の部 ペア 〈東海規定演技〉 初級・中級の部
主 旨	本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに東海各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 種目
 ソロトワール 〈全国共通規定演技〉 入門・初級・中級・上級の部
 ポンポン 〈全国共通規定演技〉 初級・中級の部
 トゥーバトン/ダンストワールA・B/ソロストラット/ペア 〈東海規定演技〉 初級・中級の部
- ① ペアのメンバーは、他団体の構成員と組むことができる。
 - ② 同一選手の出場の制限はしなしがペアのみ2種目までとする。
 - ③ ペアは2人のうち年齢が上の者の部門とする。

2. 参加申し込み

- (1) 参加者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
 ※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。
- (2) **すべての参加申し込み申請の〆切は、12月1日(土) 15時までとする。**
- (3) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
- ① 参加申込書が事務局へ送信され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 - ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

入門の部	1種目	2,500 円		
初級の部	1種目	2,500 円	ペア 1組	5,000 円
中級の部	1種目	2,500 円	ペア 1組	5,000 円
上級の部	1種目	2,500 円		

<参加申込先>

郵便振込み	口座名：バトントワリング東海大会 代表者 服部 美佐 記号12140 番号 88913731
他金融機関からの振込み	ゆうちょ銀行 218 普通預金 8891373

<申込書類送信先>

大会事務局（問い合わせ）
 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201
tokai_2005_sb@yahoo.co.jp TEL/FAX (052) 265-9251 携帯 080-1614-2005

3. 部門に関する規定

【ソロトワール／ポンポン】

(1) 部門は次の通りとする。

- ① 男女未就学部門(未就学児)
- ② 男女小学校低学年部門
- ③ 男女小学校高学年部門
- ④ 男女中学校部門
- ⑤ 男女高等学校部門
- ⑥ 男女大学・一般部門

【トゥーバトン／ダンストワール／ソロストラット／ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

- ① 男女プライマリー部門 (小学校3年生以下)
- ② 男女ジュニア部門 (小学校4年生以上)
- ③ 男女シニア部門 (高校生年代以上)

※ペアは2人のうち年齢が上の者の部門とする。

4. 演技内容に関する規定

【ソロトワール】

入門	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～5級の内容)
初級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～3級の内容)
中級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～2級の内容)
上級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～1級の内容)

【ポンポン】

初級	全国共通規定演技
中級	全国共通規定演技

【トゥーバトン／ダンストワールA・B／ソロストラット／ペア】

初級	東海規定演技	(技能ライセンス6～3級の内容)
中級	東海規定演技	(技能ライセンス6～2級の内容)

※ダンストワール A・・・スタンダード ダンストワール B・・・ヒップホップ

5. 課題曲に関する規定

【ソロトワール／ポンポン／トゥーバトン／ペア】

「レインボーマーチ」(1分) 【全国共通規定演技課題曲】

【ダンストワールA・B】

(58秒) 【ダンストワール東海大会課題曲】

【ソロストラット】

(1分) 【ソロストラット東海大会課題曲】

5. 演技順に関する規定

- (1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 一部のエントリー数が多数の場合は、複数のコートで行う場合もある。
- (3) 複数の種目にエントリーをしている場合、演技順が7番以内に接近している時は、選手の申し出により、変更することができる。

6. 審査、評価に関する規定

(1) 審査委員長・審査副委員長

- ① 審査委員長1名、審査副委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員

- ① 東海審査員規定を満たすものに委嘱する
- ② 審査員は1名とする。

7. 表彰に関する規定

- (1) 金・銀・銅の各賞を授与する。

8. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／ポンポン／トゥーバトン／ペア／ソロストラット共通】

- (1) 自由

9. その他

(1) DVD・CD購入について

- ①全国共通規定演技DVD・コンテ2009年度版 5,400円
- ②全国共通規定演技課題曲 [レインボーマーチ] CD2009年度版 1,080円

※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページをご確認下さい。
[<http://www.baton-jp.org/>]

- ③東海規定演技DVD2014年度 改正 1,000円
- ④ダンストワール、ソロストラット東海規定演技課題曲 2曲入りCD 1,000円

※上記の販売に関しては、日本バトン協会東海支部にお問い合わせ下さい。
〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201
Tel/Fax 052-265-9251 携帯/ 080-1614-2005

(2) 入場券について

観覧には入場券整理券が必要です。

1日券 1,500円 (前売り・当日券共)

出場者の注意事項等

■ 写真およびDVD撮影販売及び二次使用について

- ・ 演技中の写真撮影及びビデオ撮影は禁止です。
- ・ 写真およびDVDの撮影販売は、当協会指定業者が行う。
- ・ 写真およびDVDの著作権は、一般社団法人日本バトン協会東海支部に帰属する。
- ・ 二次使用については、該当団体の承諾のもと使用することとする。

■ 傷害保険について

- ・ 当協会にて、出演者・係員を対象に傷害保険に加入する。
- ・ 補償内容は「大会当日の会場到着時から会場出発時まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害 保険については、各団体が任意でご加入下さい。

■ 選手及び引率者入館

- ・ 選手は“第44回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会の通行証リボン”と“一般社団法人日本バトン協会2018年度構成員ワッペン”を左肩に、引率者は“付き添いリボン”を着装し、参加者用の入口から入館する。
- ・ 引率者は1名とし、選手15名につき1名の割合で追加することができる。
- ・ 通行証リボンは、参加団体打ち合わせにて配布する。

■ 参加団体代表者会議

- ・ 日 時 2019年 1月13日(日) 18:00より
- 会 場 日本特殊陶業市民会館 第一会議室
名古屋市中区金山1-5-1
電話番号 (052) 331-2141

緊急対策

1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始 1 時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会 30 分前に再度確認する。

3. 緊急事態発生の場合

(1) 火災発生の場合

- ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
- ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
- ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け本部に連絡する。
- ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
- ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。

(2) 地震の場合

- ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。
誘導にあたっては、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。

(3) けが人・病人発生の場合

- ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
- ② 各担当者は本部に通報する。
- ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
- ④ 救護所は、医務室に設置する